

## ポイント

- アクションプランにより、**総合科学技術会議が主導**して、政府全体の科学技術関係予算の重点化に向けて、**概算要求前から関係府省の施策を誘導**。※
- アクションプランに該当するとして関係府省より提案のあった施策について、責任府省の**特定・連携方策の助言等**を通じて、**プログラム化（大括り化）**を積極的に推進。
- さらに、特定された施策を踏まえた**詳細工程表**を作成し、年間のPDCAサイクルを着実に実施。
- 今回、243の提案施策から**絞り込み**を行い、**98施策**を特定（うち、**大括り化された施策37**）。概算要求額は**約3,351億円**。

※医療分野については、健康・医療戦略推進本部の一元的な予算配分調整の下でとりまとめられた府省連携プロジェクト3をアクションプラン対象施策とした。

# 平成26年度アクションプラン対象施策特定における特長①

## 1. シーリング前に、予算戦略会議を2回開催

科技担当大臣と関係府省幹部が意識合わせ

「スピード感、実行性、一体感をもって予算重点化に取り組む」

概算要求



エネルギー

- ・再生可能エネルギーの供給拡大
- ・革新的デバイスによる効率的エネルギー利用
- ・エネルギーネットワークシステム構築 等

次世代インフラ

- ・効果的かつ効率的なインフラ維持管理・更新
- ・自然災害に対する強靱なインフラ実現
- ・高度交通システム実現 等

地域資源

- ・ゲ/L情報を利用した農林水産技術高度化
- ・生産技術等を活用した産業競争力涵養 等

工程表

健康・長寿

- ・がん、精神・神経疾患、感染症、希少・難治性疾患等の予防・診断・治療法の開発等
- ・未来医療開発 等

復興・再生

- ・災害発生時の医療技術、的確な医療提供と健康維持手法や災害弱者への適切な支援方法
- ・放射性物質の効果的・効率的な除染・処分 等



医療分野については、健康・医療戦略推進本部の下、一元的な予算配分調整を行った